

このゆびと～まれ



発達検査について
Part2

兵庫県立西はりま特別支援学校
西はりプロジェクト

梅雨が明けました！いよいよ長い夏休みに入ります。

さて、『このゆびと～まれ』第2号は、発達検査（NC プログラム）について取り上げてみたいと思います。



NCプログラムって？

認知・言語促進プログラム（NC-プログラム）と言われる検査で、のぞみ発達クリニック（Nozomi Clinic for the Development Delayed）の頭文字から命名されました。発達年齢が6か月～6歳程度の子どもを対象としています。

発達の領域を10に分けて、領域の得意・不得意で子供の力を理解しようとするものです。以下が10の領域です。

1. 視覚操作（型はめ、マッチングなど）
2. 言語理解（指さし、指示理解など）
3. 言語表出（音声模倣、二語文表出など）
4. 視覚的な記録（目の前のものを隠された時に探すなど）
5. 聴覚的な記録（二語文復唱など）
6. 文字を読む（絵への興味など）
7. 文字を書く（点画、なぐり描きなど）
8. 数の理解（多い-少ないの理解など）
9. 微細運動（物をつまむ、紙を折るなど）
10. 粗大運動（座る、立つなど）



各領域で
次の発達課題が
分かりやすく
のっているよ

【特徴】

- ・発達評価と指導方法の併合したプログラム
- ・あらゆる障害に対応
- ・800種類以上の課題遊びを記載
課題遊びの例を挙げています。
- ・家庭での関わりの参考にしていただければ幸いです！
- ・子供に適した代替コミュニケーション手段選択のための資料

【課題あそびの例】

対象は一語文から二語文程度の言葉を理解している子どもを目安に関わりの参考にしてみてください

指示理解を高めるために・・・

日常での指示（おうちでもぜひやってみましょう！）

◇食卓で

「座りましょう」「食べましょう」「飲みなさい」「口をふきなさい」「立ちましょう」「片づけなさい」「手を洗いましょう」「手をふきなさい」など、たくさんの動詞を使って指示をしましょう。



- ・できるだけ身ぶりや実際のもの(タオルやお皿やコップなど)を示しながら行いましょう。
- ・「ゴクゴク」「ゴシゴシ」「ヨイショヨイショ」などの音声もつけましょう。

◇お風呂で

「脱ぎましょう」「洗いなさい」「湯舟に入ります」などを使いましょう。また、お風呂におもちゃも持ち込んで、遊びながら動作語を使用していきましょう。



◇寝るとき

「洋服を脱ぎましょう。パジャマを着よう」「ふとんに入ろう」「寝ましょう」など、寝る前に本を読む時も、身ぶりをつけながらお話ししましょう。

⇒ことばに身ぶりをつけて話しかけることを忘れずに！

⇒日常で繰り返し行うような行動は、その動作をしている絵カードを見せながら、指示をすると分かりやすいです！

【参考図書】



グループによる指導を提案した内容になっています



次号は「発達の道すじについて」です

